

『時事直言』 No.1804 2026年5月11日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[X(旧 twitter)] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

何故トランプか？、何故アメリカファーストか？

その答えは「アメリカが衰退してきたから」である。

与えるアメリカから奪うアメリカへの転身である。

トランプは相互関税を発表する前に、この膨大な赤字はすべて中国等黒字国から奪われてきた金額である、だからこれからどんどん取り返すと宣言した。

国際収支、財政収支赤字、世界最大対外債務、このまま三つ子の赤字が続けばアメリカ経済は破綻する。

こうしたアメリカの危機感から選ばれたのがトランプである。

アメリカの持続の為には民主主義や国際協調、国際法など無視する、いわば詐欺強盗の類の指導者(大統領)が必要になったのである。

1815年から1914年までの約100年間世界は英国の覇権下になりパックス・ブリタニカと言われたように、第二次大戦後1945年からソ連崩壊(1991年)後の2000年までアメリカは世界唯一の超大国になりパックス・アメリカーナと言われた。

しかし1985年のプラザ合意で事実上のドル切り下げをせざるを得なくなった頃からアメリカ経済の衰退が始まった。

アメリカは戦後から世界秩序に対する責任から今なお日本、欧州(NATO)、韓国等世界中に軍事基地を維持している。

アメリカが負担している在日米軍費用は約35億ドル(約5,500億円)で、日本が負担しているのは約2,000億円、又在韓米軍の予算は約30億ドル(約4,500億円)で韓国の負担は約1,600億円、NATOの総予算中軍事予算は24億ユーロでアメリカは16%の約4億ユーロ(7,000億円)を負担している。

アメリカは世界約80か国に軍事基地があり20万人以上の兵隊が従事し、総額800億ドル(約12兆円)以上を使っている。

オバマ大統領(2009年)以来、バイデン大統領、トランプ大統領共に「アメリカは最早世界の警察官ではない」と宣言すると同時に、もはや世界の秩序に責任は持てないと宣言しているのだから、やがて世界中の軍事基地は撤廃される。

かつての米一国覇権体制から今後はG2体制(米中二大国体制)が世界秩序に責任を持つことになる以上アメリカは中国との力のバランスを保たねばならない。

その為欧州(NATO)からは撤退しても日本が主導する米同盟国の対中軍事包囲網は維持、強化しなくてはならない。

戦後アメリカの同盟国はアメリカに依存してきたが、アメリカはいかなる同盟国にも依存したことはなかった。

今後アメリカは同盟国を主導する日本に依存することになるので、日本はやっとアメリカにノーと言える国になるのである。

トランプはアメリカが今まで与えてきた国から関税を徴収し、米駐留軍経費の倍額を払わなければ米軍は撤退すると通告している。

トランプはアメリカ存続の為、今までの与える国から奪う国に変える為選ばれた大統領である。

アメリカファーストとは奪うアメリカの代名詞である。

私は今までのアメリカと中国の関係と今後についてよくたとえ話をします。

「アメリカ(親)は子供(中国)をおんぶにだっこで育ててきたが、子供のずう体が大きく重くなったので、もう背負いきれない、今度は子供が親を背負う番だ」と。

親孝行は親が子に強要するものではないが、アメリカは子の親孝行を待ってられなくなったのと、子が親不孝者だと分かったということである。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスタ U.S.リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。